

防犯ボランティア団体をつなぐコミュニケーション情報紙 おつかれさまです！

北海道・東北ブロック防犯ボランティアフォーラムで発表！ 神町パトロール協議会（東根市）

平成28年7月9日（土）、宮城県仙台市内にあるTKPガーデンシティ仙台勾当台において、警察庁主催による「北海道・東北ブロック防犯ボランティアフォーラム」が開催され、山形県から神町パトロール協議会が選ばれて発表を行いました。

同フォーラムは、防犯ボランティア活動における実働構成員の減少や資金調達など多くの団体が直面している課題の解決を図るとともに、防犯ボランティア団体の相互交流による活動の活性化や士気高揚を促すことを目的として、全国を6つのブロックに分けて開催されているものです。

今回のフォーラムでは、神町パトロール協議会のほかに、株式会社岸本組防犯パトロール隊（北海道）、盛岡盛南地域安全協会（岩手県）、PSCパトロール隊（宮城県）といった4つの団体がポスターセッション（30名程度が座ることのできるブースを設け、ブース内に活動に関するポスター3枚を掲示し、ポスターを利用して取組内容の発表や質疑応答を行う形式）による発表を行いました。



課題解決に取り組み、会員増加と活動の活性化に成功！



神町パトロール協議会は、平成17年8月、小学校・区長協議会が中心となり、子どもの見守り活動を目的とした「神町パトロール」が結成され、その後、平成18年8月、地区のボランティア団体が主体となって発足しました。

しかし、発足して数年後、仕事や家庭の事情などから、会員でありながら活動実態のない方が見受けられるようになり、活動が停滞するという課題に直面しました。

協議会としては、「会員数がいくら増えても活動実態がなければ意味がない」と考え、平成23年に会員全員に活動を続けるか否かの意思確認を行い、継続して防犯活動ができない方には

当協議会をやめていただくことにしました。

当時は、「意思確認をすることで会員が半分くらいに減ってしまうのではないか。」などの不安はありましたが、勇気を持って実施することにしました。

その結果、一時的に会員は減少することとなりましたが、一所懸命な会員同士が活動することによって協議会全体の士気が高まるとともに、会員数も30歳代から80歳代までの183名と発足当時の2倍近くまで拡大しています。

今後は、週に1回、地区ごとで合同パトロールを実施する予定です。

（文～神町パトロール協議会 浦瀧昇一会長（写真中））

【編集後記】神町パトロール協議会は、上記以外にも、「区単位の活動リーダーの選出方法の変更」、「散歩やジョギングをするなど外出頻度の高い住民への会員勧誘」、「活動時間やパトロールコースの自由化による無理なく長期的に活動できる仕組みの構築」など課題解決に向けて取り組んできた内容を発表し、参加者からは感心する声が多く寄せられていました。